

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 (使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2016(v2.1))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)大阪トヨタ自動車(株)寝屋川	階数	地上5F
建設地	大阪府寝屋川市	構造	S造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	70人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,400時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年1月 予定	評価の実施日	2017年11月29日
敷地面積	10,226 m ²	作成者	伊藤 みゆき
建築面積	3,575 m ²	確認日	2017年11月30日
延床面積	8,595 m ²	確認者	伊藤 みゆき

本図を右クリックし、「図の変更」を選択していただき、外観写真を選択付けることができます。

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%☆☆☆☆ 60%☆☆☆☆ 80%☆☆☆☆ 100%☆☆ 100%超:☆☆

①参照値 100% (138 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 76% (46 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 76% (46 kg-CO₂/年・m²)

④上記+ 76% (46 kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.7

Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.2

音環境	2.2
温熱環境	1.6
光・視環境	2.4
空気質環境	3.1

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.0

機能性	2.9
耐用性	2.7
対応性	3.4

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.8

生物環境	3.0
まちなみ	3.0
地域性・	2.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.4

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.8

建物外皮の	5.0
自然エネ	3.0
設備システ	4.3
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.0

水資源	3.4
非再生材料の	2.8
汚染物質	3.3

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.3

地球温暖化	3.9
地域環境	3.0
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	0
<ul style="list-style-type: none"> 敷地周辺には植栽を配置し、周辺環境に配慮。 な駐車スペースを確保し、周辺道路に交通の障害が内容に配慮。 事務室の天井高2.7m、階高3.9m以上とし、ゆとりのある執務・作業スペースを確保。また、十分な広さのリフレッシュスペース(食堂・休憩室)を確保。 	<ul style="list-style-type: none"> 敷地内には、十分 	
Q1 室内環境 <ul style="list-style-type: none"> 事務室・会議室は、ブラインドによりグレアを制御。 内装材はF☆☆☆☆を全面採用し、室内環境に配慮。 	Q2 サービス性能 <ul style="list-style-type: none"> 防汚性の高い内装仕上材を採用。 ゆとりのある執務・作業スペースを確保。 	Q3 室外環境(敷地内) <ul style="list-style-type: none"> 敷地の周囲に様々な種類の植栽を施し、四季を通じて楽しむことができる。
LR1 エネルギー <ul style="list-style-type: none"> 運用管理体制が確立されている。 	LR2 資源・マテリアル <ul style="list-style-type: none"> 低VOCの内装材を採用。 	LR3 敷地外環境 <ul style="list-style-type: none"> 平面駐車場は、緑化ブロックを採用し、地表面の温度上昇を抑制。 屋根面対策として屋上緑化を採用。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2017年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H29-0107

Osakafu-新築・既存 2017V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)大阪トヨタ自動車(株)寝屋川BPセンター新築工事(工場棟)					
	建設地	大阪府寝屋川市葛原新町41-2,42-3					
	用途/区分	工場 事務所					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+	
	CO2削減					4	
	省エネ対策					4	
	みどり・ヒート アイランド対策					3	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
	エネルギー消費量の報告					報告しない	

【評価項目】								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
項目		評価内容			スコア	評価		
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価			3.9	4		
② 省エネ 対策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価	建物全体	3.0	4			
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価						5.0
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価						3.0
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価						4.3
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価						3.0
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価						3.4
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。			報告する 報告しない	報告しない		
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
項目		評価内容			スコア	評価		
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価			3.0	3		
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価			3.0			
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価			2.0			
その他								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項								